

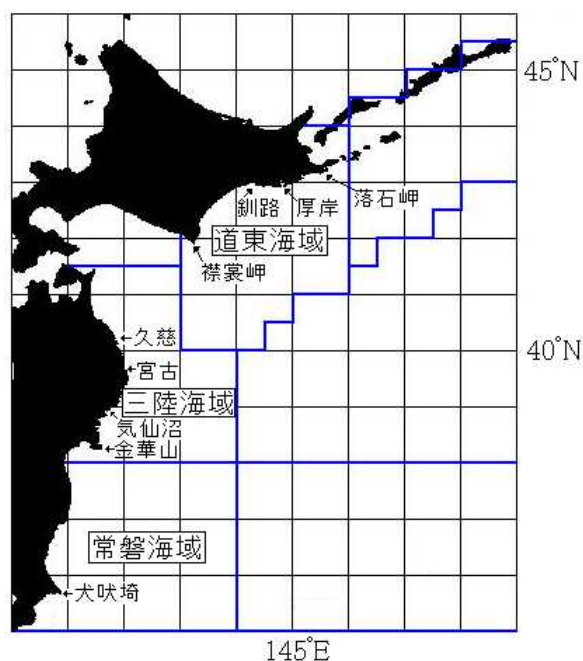
平成30年度 第9回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2018年12月上旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域は、終漁。
- ・三陸海域では、来遊量は低位水準で減少する。
- ・常磐海域では、来遊量は低位水準で減少する。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部
担当：渡邊、松尾
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

平成30年度 第9回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2018年12月上旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、終漁。

(2) 漁場

漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

12月上旬～12月中旬は、来遊量は減少する。12月中旬は断続的な来遊となり、終漁となる。

(2) 漁場

12月上旬～12月中旬は、三陸南部が漁場となる。

3) 常磐海域


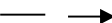
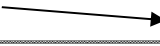
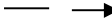
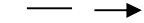
(1) 来遊量

来遊量は減少し、12月上旬は低位水準、12月中旬～下旬は断続的な来遊となる。

(2) 漁場

12月上旬～12月下旬は常磐南部～北部が漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量			
	動向			
	漁 場			
三陸海域	来遊量			
	動向	低位減少	断続的	
	漁 場	南部	南部	
常磐海域	来遊量			
	動向	低位減少	断続的	断続的
	漁 場	北部～南部	北部～南部	北部～南部

3. 漁況の経過概要（11月中旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

道東海域よりも南東側の落石南東沖における来遊量の水準は、前年を上回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、道東海域よりも南東側では来遊量は徐々に減少した。

(2) 漁場

道東海域では、漁場は形成されなかった。

主漁場は、道東海域の南東側の、落石南東230海里～320海里であった。落石南東230海里～320海里（13～18℃）では、大型船多数と小型船が操業。大型船で最高100トン、平均20トン程度漁獲した。

(3) 魚体

道東海域の南東側では、体長29～30cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は、110～130g台が主体であった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した三陸海域における来遊量の水準は、前年並の低位水準であった。日別CPUEから判断すると、三陸海域における来遊量は期前半に増加したが、後半は減少した。

(2) 漁場

三陸海域では、釜石東～金華山南東沖が漁場となった。大船渡東40海里～90海里（13～20℃）では、大型船数隻～20隻程度と小型船が操業。大型船は最高45トン程度、平均7トン程度漁獲した。また釜石東10海里～金華山南東10海里（16～18℃）では、大型船が数隻～20隻程度と小型船が操業。大型船で最高20トン、平均3トン程度漁獲した。

(3) 魚体

体長25～27 cmモードと29～30cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は、100～110g台が主体であった。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した常磐海域における来遊量の水準は、前年並の低位水準であった。日別CPUEから判断すると、常磐海域における来遊量は期後半に増加した。

(2) 漁場

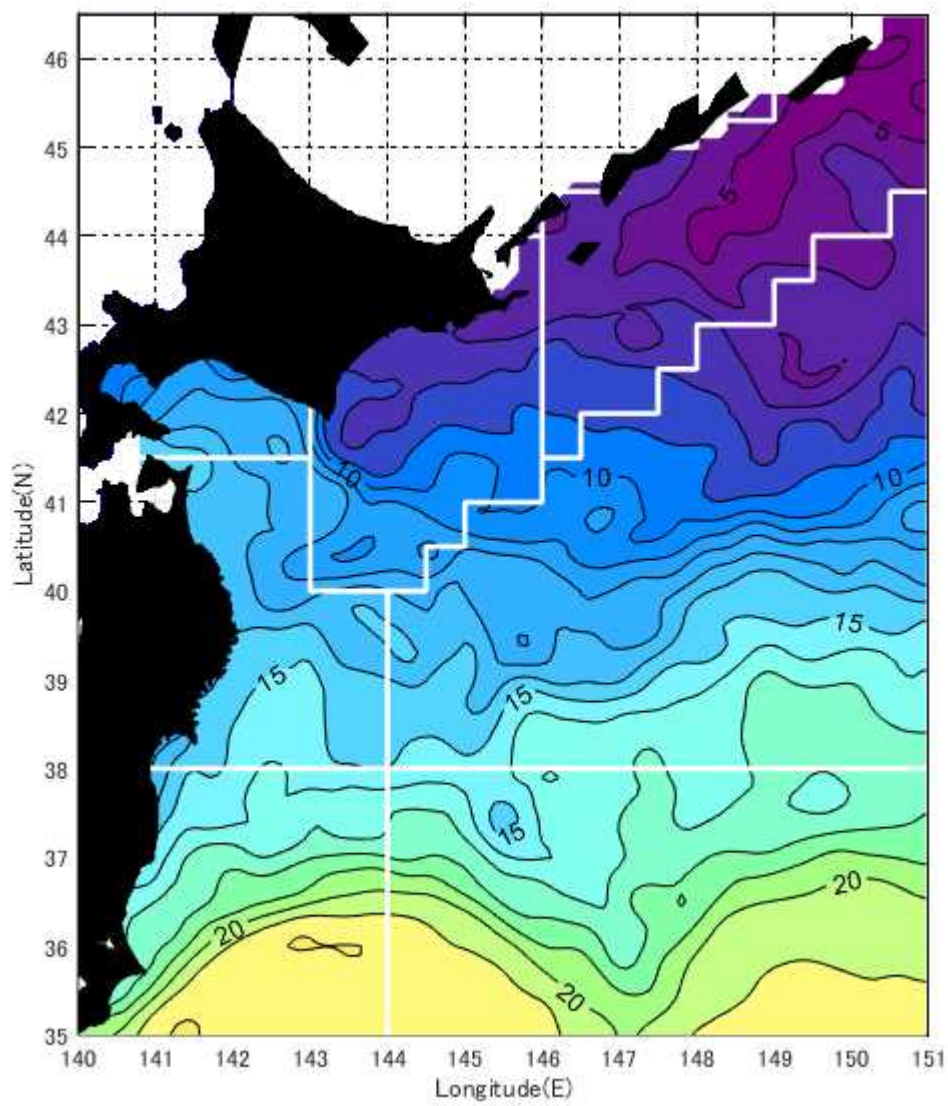
常磐海域では、小名浜南東沖が漁場となった。小名浜南東10海里（17℃）では、16日夜に大型船1隻操業し、7トン漁獲した。

(3) 魚体

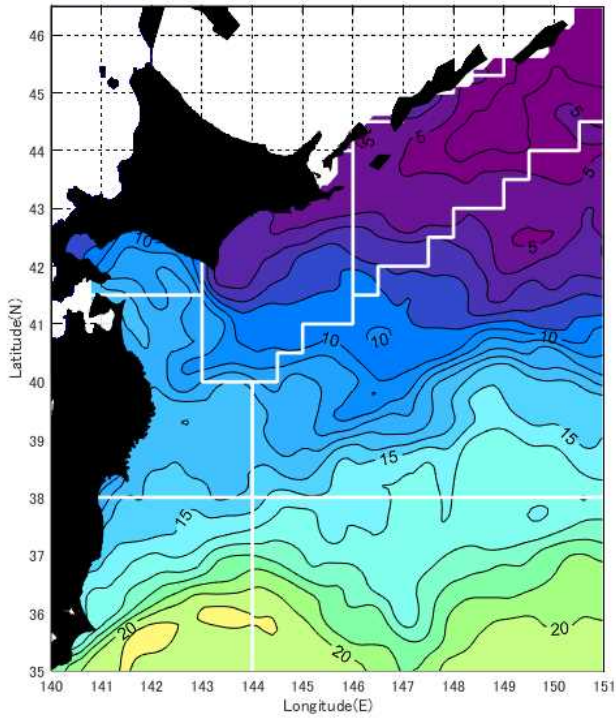
体長25～26cmモードと29～30cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は、110g台が主体であった。

4. 予測水温分布図

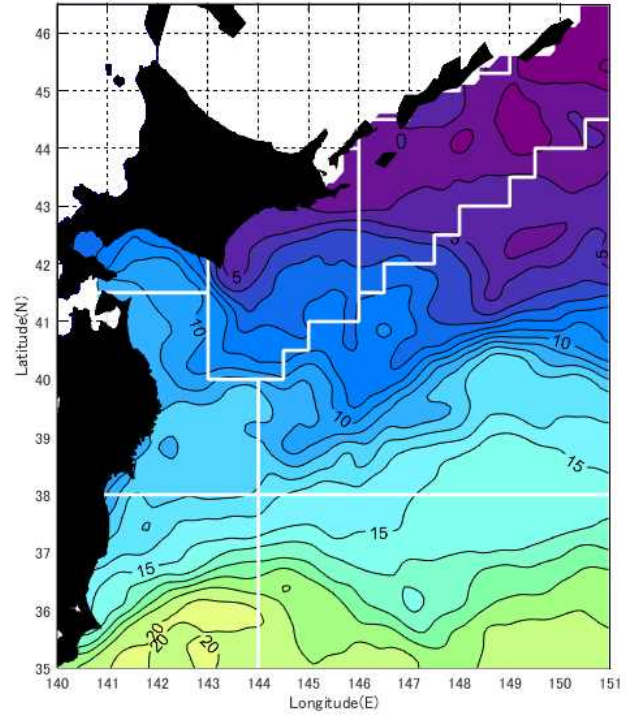
12月上旬予測表面水温分布図



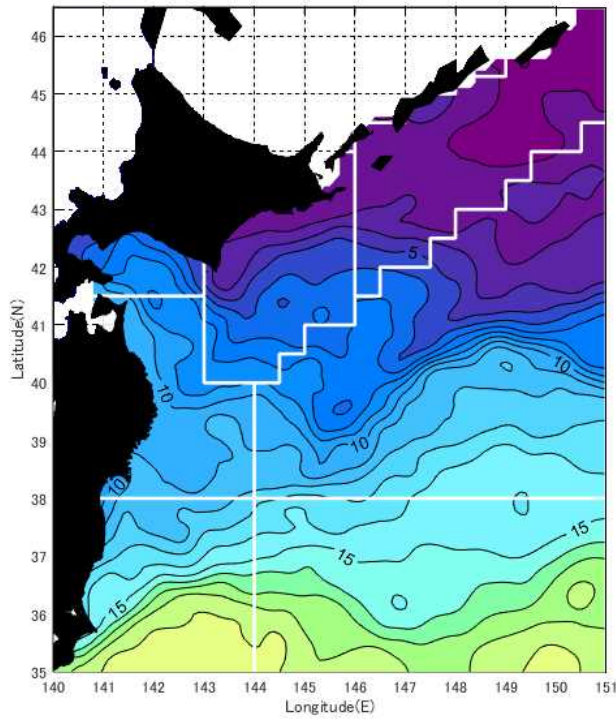
12月中旬予測表面水温分布図



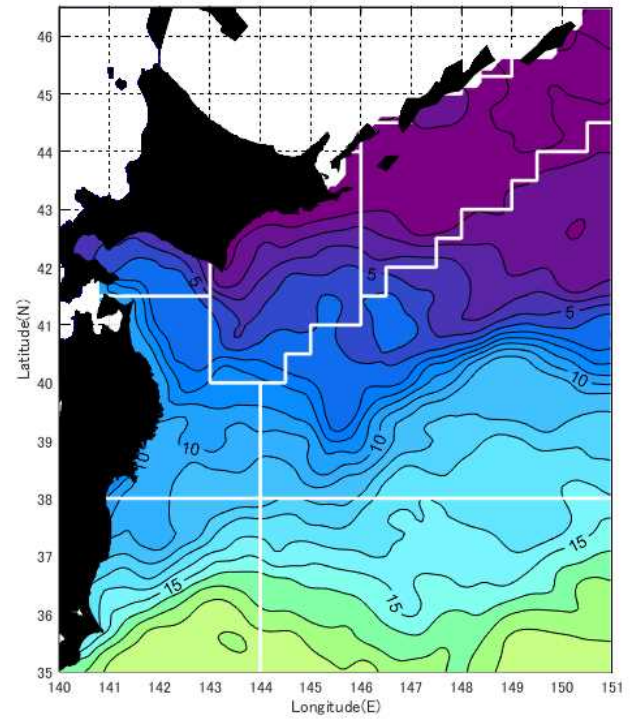
12月下旬予測表面水温分布図



1月上旬予測表面水温分布図



1月中旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	--